

LADIES BADMINTON

連盟だより

大阪府レディースバドミントン連盟

第50号

平成 29 年 5 月



新年度の始めに



理事長 廣瀬 園子

2017 年は世界的に変革の年となっています。十二支では酉年。飛び上がり、飛び跳ねる年です。連盟でも平成 29 年度、各部署で交代があり斬新な進化の音が聞こえてきました。前年度の役員の皆様ありがとうございました。皆様に積み上げていただいた安定した緻密な基盤の上で、新役員の皆様の熟成とご活躍を期待いたします。

リオセントロでの金メダル獲得は、バドミントン界に大きな夢をもたらしてくれました。3 年後の東京オリンピックを見据え、世界を舞台に活躍を報じる日本選手のニュースが頼もしいこの頃です。私達とて負けてはられません。

2 月 22 日に成田を出発し、The 60th Dave Freeman Open 2017 に参加しました。アメリカ合衆国の南西端、太平洋岸南部の都市サンディエゴで開催されるこの歴史ある大会は 60 回を迎え、かねてより熱いご案内をいただいております。日本レディース連盟の協力を得、大阪は勿論、茨城、千葉、東京、九州からも強豪選手が集まりました。大会を通じ旧交を温め、国際大会への誘致を試み、海外大会での見聞を深めてまいりました。世界にバドミントンを愛好する友人がいる限り、交流の輪は海を越えてつながります。

昨今の世界情勢は必ずしも平安ではありません。政治的には課題を抱えながらも、私達は私達の立ち位置を考えながら国際親善を願い、できるパーツを埋めていきたいと考えます。国際親善大会は 23 回を迎えます。今年も大阪ならではの発想で、参加選手に寄り添う質の高い大会提供を目指します。

応援をいただく各団体各企業の皆様、本年も変わらぬご支援をお願いいたします。ホップ・ステップ・ジャンプと土を蹴り飛び上がれるよう、連盟員皆様様のご協力をお願いいたします。期待と希望の中で、何度迎えても春はわくわくする季節です。

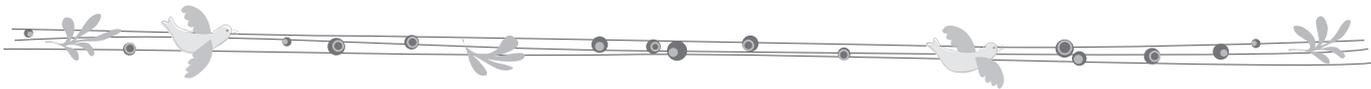


日本レディースバドミントン連盟会長に就任



村井 広美

4月20日の日本レディース連盟総会にて、長年大変お世話になった藤田庸右会長の後任を預かりました。大任に身の引き締まる思いでございます。皆様方が私に大役をお与えになりましたのは、女性だけの組織運営で更なる発展に努めよとの叱咤激励ではないかと受け止めているところでございます。大阪の皆さまには今後とも尚一層のご支援ご協力をよろしく申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 新役員 就任挨拶 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

☆ 顧問 上田 光代 (門真クラブ)

1975年の連盟発足より42年の歳月を迎えます。この度、顧問に就任するにあたり、昨今のレディースの社会進出と相乗した本連盟の目覚ましい発展を嬉しく感じております。大事業の国際親善大会をもの見事に運営できる本連盟を限りなく誇らしく見守りたいと思います。

☆ 参与 西野 幸子 (東大阪M.B.C)

東大阪M.B.Cで育てられて、早40年が経ちました。紆余曲折もありましたが、今もラケットが振れているのはひとえに"健康"のおかげだと感謝しています。今まで連盟の会計監査をさせていただきましたが、この度、参与を仰せつかることになりました。次の世代の役員の方々がホップ・ステップ・ジャンプとより高く飛躍していただく為の繋ぎ手になれるように努力していきたいと思っています。



☆ 会計監査 末藤 かほる (守口東部)

連盟役員に携わってから15年目を迎えます。総務部長の大役を終え、会計監査として気持ちも新たに組みたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 新部長 紹介 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

◇ 総務部 酒井 素子 (枚方シャトルズ)

副ブロック長から6年が瞬く間に過ぎました。総務部部長1年目の新人ですが、「縁の下の力持ち」を目指して、部員・専門部員のみなさまのご協力をいただき、連盟全体が滞りなく円滑に進む様努力してまいります。

◇ 競技部 沼間 由美 (レインボー)

ちょうど10年前副ブロック長として初めて連盟の仕事に携わりました。この度、競技部部長という大役を引き受ける事となりました。不安だらけのスタートですが、周りの役員の方と力を合わせて連盟員皆様がバドミントンを楽しめるようにがんばります。

◇ 広報部 角本 純子 (鴨谷クラブ)

6年で終わる予定の役員生活が7年目に突入します。優勝写真に写る皆さまのすてきな笑顔をたくさんアップし、大所帯となった連盟員への掲示板とも言える連盟ホームページのさらなる充実をはかりたいと思っています。



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 新ブロック長 紹介 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

◇豊能ブロック 清水 美香子 (池田クラブ)

連盟員としてこれまでたくさんの貴重な経験をさせていただきました。少しでも恩返しが出来るよう、心強い諸先輩方に教えをいただきながら、理事、副ブロック長、評議員の皆様と力を合わせて、連盟の発展の為に頑張っています。

◇三島ブロック 中野 陽子 (島本AOC)

遡る事十数年前、クラブ代表から「次のブロック長、お願いね」と引き継ぎました。のんびりしている間に時が過ぎ…。しっかり気を引き締め、諸先輩のご指導、ご助言を賜り、ブロックの皆様の力添えを頂き、皆様とバドミントンを楽しめるよう尽力して参ります。

◇北河内ブロック 那須 直美 (フレンズ)

いよいよブロック長としての始まりの日が来ました。これから先輩方のご指導を引き続き頂きながら、副ブロック長・評議員さんと力を合わせて北河内ブロックを盛り上げていきたいと思っております。自分の能力の限界に挑戦し、がんばります。

◇中河内ブロック 大東 恵美子 (東大阪B.B.C)

いよいよ中河内ブロック長としての日々が始まります。頼りになる諸先輩方にご指導頂き、副ブロック長、評議員さん、東大阪B.B.Cの仲間にも助けをもらいながら、会員の皆さんが楽しくブロック活動や大会に参加して頂けるよう、力になりたいと思っています。

◇泉南泉北ブロック 松本 郁子 (岸和田)

副ブロック長生活2年があっという間に過ぎました。色々不安はありますが、やればできる！と自分に言い聞かせて、連盟と泉南泉北ブロックのパイプ役として、新役員、11名の評議員の方々と協力して、気持ちも新たに頑張っています。

◇市内ブロック 上間 恵美 (神津クラブ)

パソコン初心者、人前で話すのも苦手で、これからのブロック長の大役は不安と緊張で一杯です。ご迷惑かける事も多々あると思いますが、皆さんに色々教えてもらい助けてもらいながら、感謝の気持ちを忘れず日々成長出来るように頑張っていきたいと思っております。

◇南河内ブロック 三根 靖子 (富田林)

長男入園とともに富田林に所属し連盟登録しました。その長男も22歳。この十数年、主婦ではできない素晴らしい経験をしました。ブロック長就任にあたり、少しでも連盟のお役に立ち、南河内を盛り上げ、バドミントンも役員も楽しみながら精一杯頑張りたいと思っております。



第39回近畿レディースバドミントン選手権大会

期日：平成29年3月18日(土)

会場：東大阪市立総合体育館

優勝 雄飛(京都府)

準優勝 桜ヶ丘クラブ(大阪府)

3位 門真クラブ(大阪府)

第35回全日本レディースバドミントン選手権大会 (クラブ対抗) 大阪府予選会

期日：平成29年4月12日(水)・19日(水)

会場：東大阪市立総合体育館

優勝 神津クラブ

準優勝 フレンドリークラブ

3位 平野クラブ

*入賞3クラブは7月20日～23日、第35回全日本レディース選手権大会(静岡)に出場します。

第19回シニア交流会 in 佐世保

九十九島の素晴らしい景色に迎えられ、平成29年3月23日、第19回シニア交流会が開催されました。佐世保レディース連盟ご協力の元、長崎ワインカラーの皆様の知恵を絞ったチーム分けによりたくさんの方の試合を満喫しました。夜は恒例のかの有名なレセプションです。チョゴリ姿で何を洗うかはご想像任せの洗濯舞踊あり、怪しいひげおじさんによる「白鳥の湖」、瀕死の白鳥に笑い転げて瀕死になりました。その他大阪の出し物はこれも恒例の参加者26名による河内音頭、赤い法被が鮮やかでした。

実に20年も続いてきたこの楽しい歴史を持つ交流会は、次回大阪での開催をもって1幕が終わります。お世話頂いた各クラブの皆様もやや高齢化が進み、この辺で見直しの時間を持つことになったのです。長崎、岡山、広島、島根、山口、高知、大阪、個人クラブからスタートしたこの会は、連盟の参加も交え各府県を回りながら試合+観光+レセプションを楽しむ大会として定着してきました。その間ヒロウン株式会社様にはシャトル提供、商品販売、レセプションでの抽選会賞品提供と、温かいご協賛をいただきました。まだ来年もあります、本当にありがとうございました。

また種が育っています。どのような花を咲かせるかは今後の課題となりますが、2幕目には何が待っているのでしょうか。皆で演出を考えていきたいと思えます。 大亀 八重子(八尾クラブ)

The 60th Dave Freeman Open Badminton Tournament 2017 in San Diego

2月24日～26日、抜けるような青空のもとで開かれた60回記念大会に大阪8名を含む計20名の日本選手団で参加してきました。全員が複数の種目に参加でき、何組か入賞ペアもあり選手団は大会を大いに楽しみました。また、今年の国際親善大会を紹介したり2008年国際親善アメリカ大会の際にお世話になった方々と再会したりとても充実した訪問となりました。



2017 第46届世界清晨盃暨呉文達記念盃羽球錦標賽(台北モーニングカップ)

4月7日～9日、台北市、台北ドームにて標記大会が開催され、世界14か国、延べ3,200名が参集されました。種目も日本ではあまり見られない父子ダブルス・母子ダブルス・3Pや年齢別では85歳迄等多岐にわたっています。目をみはるところでは、全主審がタッチパネルで進行し、それに連動して試合のライブスコアが携帯電話で見られるアプリの存在でした。

**75歳ダブルス優勝
合算140歳準優勝!**
兼田 公子・高澤 節巳

合算130歳優勝!
廣瀬 園子・梶谷恵美代



*サンディエゴ大会・台北モーニングカップの詳しいレポート・写真を連盟ホームページに掲載しております。

◇ファイテン講習会

ケガの改善と予防、パフォーマンスの向上にも役立つ“スポーツのツボ”

日時：平成29年4月19日(水) 9:30～11:30

会場：東大阪市立総合体育館



発行 大阪府レディースバドミントン連盟
〒577-0804 大阪府東大阪市中小阪5-12-4 ローリエ八戸ノ里201
<http://osakalbad.jp/>
責任者 廣瀬 園子 編集 広報部